

令和5年度第3回野田市学校給食運営委員会次第

日時：令和5年11月14日（火）

午後6時から

場所：野田市役所 8階大会議室

1 開 会

2 市長挨拶

3 教育長挨拶

4 議 事

(1) 協議事項

学校給食費の適正な在り方について

(2) 報告事項

① 学校給食に提供している牛乳の価格

② 市内小中学校における牛乳の飲み残し調査結果

5 閉 会

1 学校給食費の適正な在り方について（協議事項）

学校給食費の適正な在り方については、これまで、学校給食運営委員会の場で、「栄養バランスのとれた、安心安全なおいしい学校給食」について、様々な視点で、現状と今後の給食費の適正な在り方への検討の必要性をご説明させていただきました。

市では、これからの野田市の未来を担う子供たちへの教育を大切に考えており、学校給食制度もその一環と考えております。

そして、子供たちが健康で、学びに、運動に集中できる環境を提供するためには、引き続き、より栄養価の高い、安心安全で、おいしい学校給食を提供していく必要があると考えております。

今回の学校給食費の適正な在り方における協議につきましては、急激な円安の進行に加え、原油をはじめとするエネルギー価格や半導体、農林水産物等の様々な原材料・資材価格等の高騰などにより、今後の食材料費の価格等も不透明なことから、中長期的に学校給食費の適正な在り方を決定することは難しいと考え、令和6年度の学校給食費について、ご協議をいただきたいと考えております。

給食費改定については、保護者の皆様のご理解とご協力が不可欠であると考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(1) 野田市の学校給食費の基本的な考え方

第1回の学校給食運営委員会でご説明させていただきました野田市の学校給食費の基本的な考え方を改めて再確認をさせていただきます。

学校給食法第11条及び同法施行令第2条の規定に基づき、基本的に食材料費は保護者負担となっております。

市としては、平成13年度から市独自の野田産米補助を実施するとともに、令和4年度及び令和5年度には物価高騰対策として、国の補助金を活用し、保護者負担の軽減を図っているところです。

また、令和4年度及び令和5年度は、千葉県が実施した第3子以降の無償化制度を実施することとしましたが、この制度は、市が実施しなければ、千葉県も実施しないという形のものであり、野田市としても実施の有無について、選択の余地がなかったと言わざるを得ないと考えております。

本来、学校給食費を無償化するかどうかについては、国が検討すべきことであり、今後、第3子以降の給食費無償化事業を推進することについては、県の補助事業が来年度以降も同様に継続されるのか不透明な中、今後も継続していくことは、財政負担も大きいとともに、野田市としては、子供たちによりきめ細やかな教育を実施するために必要となる、教職員の配置や老朽化している学校施設や給食施設への対応など、喫緊の課題を優先して対応していかなければならないと考えております。

(2) 令和5年度月別、学校別賄材料費（食材料費）の執行状況

令和5年4月から9月までの学校別、月別の賄材料費（食材料費）の1食当たりの単価は下表のとおりとなります。なお、学校ごとにバラつきがありますが、乾物や調味料などを先に購入している学校などがあるためなどの理由がありますが、1食当たりおよそ25円の不足が見込まれます。

表1 令和5年度月別、学校別賄材料費（食材料費）の執行状況（4月から9月まで）

学校名等		4月	5月	6月	7月	9月	平均① (4-9月)	給食費②	差額 ③(①-②)
小学校	東部小	269.11	281.07	284.21	279.74	290.55	280.94	253.00	27.94
	南部小	304.15	277.84	274.69	277.82	295.39	285.98	253.00	32.98
	北部小	261.72	266.90	279.78	282.49	279.52	274.08	253.00	21.08
	福一小	293.81	291.40	275.37	286.60	303.09	289.98	253.00	36.98
	福二小	276.43	259.66	263.19	260.00	278.68	267.59	253.00	14.59
	川間小	284.08	275.88	274.32	279.56	280.25	278.82	253.00	25.82
	山崎小	266.56	259.64	266.45	268.16	289.62	270.08	253.00	17.08
	岩木小	278.30	265.30	285.65	276.64	281.32	277.70	253.00	24.70
	尾崎小	263.08	264.99	269.86	265.73	277.05	268.14	253.00	15.14
	七光台小	282.17	296.02	318.97	264.83	278.22	287.48	253.00	34.48
	二ツ塚小	262.52	264.05	256.79	279.86	276.84	267.44	253.00	14.44
	みずき小	284.68	307.75	283.96	276.05	289.53	288.11	253.00	35.11
	野田センター	279.94	258.70	279.10	269.78	264.47	270.40	253.00	17.40
	関宿センター	293.21	277.93	281.15	272.85	290.90	283.21	253.00	30.21
平均	278.55	274.80	278.11	274.29	283.96	277.85	253.00	24.85	
中学校	東部中	335.24	331.29	333.24	328.09	339.48	333.47	304.00	29.47
	南部中	321.57	322.61	317.24	314.23	301.18	315.37	304.00	11.37
	北部中	328.22	338.31	297.03	338.48	306.60	321.73	304.00	17.73
	福田中	325.09	365.09	360.18	339.61	367.30	351.59	304.00	47.59
	川間中	324.20	308.23	317.73	313.48	326.95	318.12	304.00	14.12
	岩名中	337.79	329.12	332.63	342.26	343.71	337.10	304.00	33.10
	野田センター	336.13	310.57	335.08	323.93	317.51	324.64	304.00	20.64
	関宿センター	352.17	333.93	337.82	327.82	350.66	340.48	304.00	36.48
	平均	332.55	329.89	328.87	328.49	331.67	330.31	304.00	26.31

(3) 国、県、千葉県及び近隣県（埼玉県）内の学校給食費の状況

学校給食費の現状については、国が実施しました学校給食費調査（令和3年5月1日現在）を見ると、給食費の月額平均は公立小学校が4,477円で、前回2018年度調査に比べて3%増え、公立中学校の月額平均も5,121円で3.6%増えています。物価高騰を受け、これまで学校給食費を据え置いてきた自治体でも食材調達が困難となっており、「国の補助がなければ値上げは不可避」「現在の給食費のままでは献立を維持するのが難しい」とのことで、学校給食費の改定を検討している自治体が増えています。

表2 国、県の動向

国	<p>令和6年度概算要求基準の基本的な考え方については、物価高騰対策等を含めた重要政策については、必要に応じて、「重要政策推進枠」や事項のみの要求も含め、適切に要求・要望を行い、予算編成過程で検討することとしている。</p> <p>また、学校給食費の無償化については、文部科学省は、子ども家庭庁と連携しながら、学校給食費の無償化を実施する自治体における取組実態や成果・課題を調査するとともに、併せて、無償化の検討に当たって考慮すべき観点を踏まえつつ実態を調査すること。</p>
千葉県	<p>第3子以降の公立学校給食費無償化支援事業については、令和6年度継続を検討中とのこと。</p>

※ 令和5年10月末時点での状況のため、変更となる可能性があります。

表3 千葉県内の給食費改定状況（6自治体）

他市の動向については、あくまでも現時点（R5.10.27）の検討状況を担当課である学校教育課が聞き取ったものとなります。来年度以降の動きは、あくまでも各自治体、検討中となっております。

自治体名	改定時期		改定前	改定後	改定額	改定額の負担
松戸市	R4年 7月	小	1・2年生 <u>261円</u> 3・4年生 <u>281円</u> 5・6年生 <u>301円</u> (牛乳代含む)	1・2年生 <u>306円</u> 3・4年生 <u>333円</u> 5・6年生 <u>361円</u> (牛乳代含む)	<u>45円</u> <u>52円</u> <u>60円</u>	R5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金）
		中	中学生 <u>371円</u> (牛乳代含む)	中学生 <u>422円</u> (牛乳代含む)	<u>51円</u>	R6年度 市単独で検討中 R7年度以降未定
鎌ヶ谷市	R6年 4月 (検討中)	小	<u>255円</u>	<u>280円</u>	<u>25円</u>	R5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金）
		中	<u>291円</u>	<u>350円</u>	<u>59円</u>	R6年度 市単独で検討中 R7年度以降未定
茂原市	R5年 4月	小	<u>270円</u>	<u>290円</u>	<u>20円</u>	R5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金）
		中	<u>315円</u>	<u>340円</u>	<u>25円</u>	R6年度 市単独で検討中 R7年度以降未定
浦安市	R5年 4月 R6年度も 改定を検討	小	<u>260円</u>	<u>280円</u>	<u>20円</u>	R5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金）
		中	<u>310円</u>	<u>330円</u>	<u>20円</u>	R6年度 市単独で検討中
銚子市	R5年 4月 R6年度も 改定を検討	小	<u>247円</u>	<u>266円</u>	<u>19円</u>	R5年度 保護者負担の一部を市 が負担（基金活用）
		中	<u>288円</u>	<u>319円</u>	<u>31円</u>	小 1,400円/月 中 1,700円/月 R6年度 継続するか検討中
四街道市	R5年 4月	小	<u>272円</u>	<u>286円</u>	<u>14円</u>	R5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金）
		中	<u>333円</u>	<u>351円</u>	<u>18円</u>	小 2,500円/年 中 3,500円/年 R6年度 未定

表4 埼玉県内の給食費改定状況（6自治体）

他市の動向については、あくまでも現時点（R5.10.27）の検討状況を担当課である学校教育課が聞き取ったものとなります。来年度以降の動きは、あくまでも各自治体、検討中となっております。

自治体名	改定時期		改定前	改定後	改定額	改定額の負担
川口市	R 5年 4 月	小	<u>238 円</u>	<u>273 円</u>	<u>35 円</u>	R 5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金） R 6年度 市単独で検討中
		中	<u>279 円</u>	<u>324 円</u>	<u>45 円</u>	
新座市	R 5年 4 月	小	<u>240 円</u>	<u>270 円</u>	<u>30 円</u>	R 5年度 保護者負担増額分は市 が負担（前期：一般財 源、後期：国交付金） R 6年度 未定
		中	<u>285 円</u>	<u>320 円</u>	<u>35 円</u>	
熊谷市	R 5年 4 月 R 6年度も 改定を検討	小	センター校 <u>231 円</u> 単独校 <u>243 円</u>	<u>264 円</u> <u>277 円</u>	<u>33 円</u> <u>34 円</u>	R 5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金） 1食当たり小学生 16 円、中学生 19 円 R 6年度 市単独で検討中
		中	センター校 <u>280 円</u> 単独校 <u>292 円</u>	<u>322 円</u> <u>334 円</u>	<u>42 円</u> <u>42 円</u>	
朝霞市	R 5年 4 月	小	<u>249 円</u>	<u>280 円</u>	<u>31 円</u>	R 5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金） 更に R5.10～R6.3 保護 者負担の半額を補助 R 6年度 市単独で検討中
		中	<u>285 円</u>	<u>315 円</u>	<u>30 円</u>	
北見市	R 5年 4 月	小	<u>265 円</u>	<u>295 円</u>	<u>30 円</u>	R 5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金） 更に小学生のみ 80 円 を別途補助 R 6年度 市が保護者負担増額分 の半額を負担 R 7年度 全額保護者負担するこ とも含め検討中
		中	<u>295 円</u>	<u>325 円</u>	<u>30 円</u>	
日高市	R 5年 4 月	小	<u>224 円</u>	<u>248 円</u>	<u>24 円</u>	R 5年度 保護者負担増額分は市 が負担（国交付金） R 6年度 未定
		中	<u>277 円</u>	<u>301 円</u>	<u>24 円</u>	

(4) 令和6年度の学校給食費について

市では、物価高騰が収束する見通しが立たない中で、保護者の皆様の負担軽減も考慮した上で、次のとおり、市の考え方をまとめさせていただきました。

改定内容につきましては、2ページ「(2) 令和5年度月別、学校別賄材料費（食材料費）の執行状況」でご説明させていただきました不足額を考慮させていただいております。

(学校給食費の改定案)

安心安全で栄養バランスの取れたおいしい学校給食を提供し続けるため、令和6年4月から学校給食費を一食当たり、小学校25円、中学校30円引き上げさせていただきますと考えております。

なお、公立幼稚園（野田幼稚園、関宿中部幼稚園）については、現在、小学校と同額となっておりますが、学校給食として提供している量を考慮し、幼稚園の価格は据え置きとさせていただきますと考えております。

急激な円安の進行に加え、原油をはじめとするエネルギー価格や半導体、農林水産物等の様々な原材料・資材価格等の高騰などにより、今後の食材料費の価格等も不透明なことから、中長期的に学校給食費の適正な在り方を決定することは難しいと考えております。

つきましては、令和7年度以降の学校給食費の適正な在り方については、国、県の動向、他市の動向、物価高騰の状況などを勘案し、令和6年度中に学校給食運営委員会で改めて協議させていただきますと考えています。

(改定前) 令和5年度			(改定後) 令和6年度		
	1食当たりの単価	月額		1食当たりの単価 ()内は改定額	月額 ()内は改定額
幼稚園	253円	4,240円	➔	253円 (0円)	4,240円 (0円)
小学校	253円	4,240円		278円 (+25円)	4,650円 (+410円)
中学校	304円	5,090円		334円 (+30円)	5,590円 (+500円)

- 令和6年度中に更なる物価高騰により食材料費が高騰した場合には、栄養バランスの取れた安心安全でおいしい学校給食を引き続き提供していくこととし、そのために必要な経費は、市が負担いたします。

(保護者負担の軽減)

物価高騰により保護者の皆様の生活にも大きな影響を与えていることから、令和6年度については、学校給食費の改定に伴う増額分（幼稚園を除く。）のうち、市が半額を負担し、保護者の皆様の負担を軽減させていただきます。

これにより、保護者負担額は、月額に換算すると、小学校200円（1食当たり25円）、中学校250円（1食当たり30円）となり、月額で改定前の1食分の学校給食費を下回る額の中で抑えられるように検討いたしました。

なお、保護者の負担軽減策については、9ページにも記載しています。

保護者負担額（月額）

幼稚園 4,240円（増減なし）

小学校 4,440円（200円増）

中学校 5,340円（250円増）

注：改定後（月額）は幼稚園4,240円、小学校4,650円、中学校5,590円

表5 改定後の学校給食費と保護者負担額

		学校給食費	市負担（公費負担）	保護者負担
幼稚園	1食単価	253円 (増減なし)	0円	253円 (増減なし)
	月額	4,240円 (増減なし)	0円	4,240円 (増減なし)
小学校	1食単価	278円 (25円増)	13円	265円 (12円増)
	月額	4,650円 (410円増)	210円	4,440円 (200円増)
中学校	1食単価	334円 (30円増)	15円	319円 (15円増)
	月額	5,590円 (500円増)	250円	5,340円 (250円増)

(積算)

■ 改定後の学校給食費（月額）

小学校 一食単価 278円×184食÷11か月＝4,650円（10円未満四捨五入）

中学校 一食単価 334円×184食÷11か月＝5,590円（10円未満四捨五入）

■ 保護者負担額（月額）

小学校 改定後 4,650円－改定前 4,240円＝改定額（月額）410円
410円÷2＝200円（10円未満切り捨て）

中学校 改定後 5,590円－改定前 5,090円＝改定額（月額）500円
500円÷2＝250円（10円未満切り捨て）

■ 市負担額（月額）

小学校 改定額 410円－保護者負担額 200円＝210円

中学校 改定額 500円－保護者負担額 250円＝250円

※ 幼稚園の学校給食費は据え置きとなります。

(学校給食費改定後の学校給食)

令和5年10月31日(火)に臨時に栄養士部会を開催し、作成いたしました安心安全で栄養バランスの取れたおいしい学校給食を提供していくための、基本的な方針は次のとおりです。

- 食育の一環として、季節感のある食材や地場産物をより多く活用する
- 郷土食や行事食、外国のメニューを取り入れることで、地域への興味や食の楽しみが深まるようにする
- 肉や魚、野菜等の種類や構成を工夫し、バラエティに富んだ献立を提供することで、子どもたちが大人になってもまた給食を食べたいと思えるような献立作成に努める
- 減農薬減化学肥料による特別栽培米である「ちばエコ農産物」として認証されている安心安全な黒酢米や発芽玄米を取り入れた米飯給食を提供する
- 焼き、揚げ、煮物、蒸し物等の調理法に偏りがないように献立を作成する
- 食材を生かした料理の作成に努める
- 汁物は、かつお節、昆布、煮干し等の天然の素材からだしを取る
- 食材の選定に当たっては、なるべく添加物の少ないものを選ぶ
- 季節や行事食に合ったデザートを工夫する

(5) 令和6年度の学校給食費と保護者負担軽減策について

安心安全で栄養バランスの取れたおいしい学校給食を提供し続けるため、令和6年度の学校給食費を改定させていただきたいと考えております。

今回の改定により、8ページで説明させていただきました「基本的な方針」に基づき、学校給食を提供してまいります。

また、市としても、これからの野田市の未来を担う子供たちへの将来に向けた投資であるとともに、引き続き、保護者の皆様の負担軽減を図るため、来年度も、野田市独自の施策となる野田産米の100%公費負担、就学援助の範囲拡大を継続する方向で検討するとともに、第3子以降の学校給食無償化についても、千葉県が来年度も実施する方向で検討していることから、千葉県が実施した場合には、野田市でも実施すべく検討してまいります。

繰り返しとはなりますが、これからの野田市の未来を担う子供たちへの教育を大切に考えており、学校給食制度もその一環と考えております。

そして、子供たちが健康で、学びに、運動に集中できる環境を提供するためには、引き続き、より栄養価の高い、安心安全で、おいしい学校給食を提供していく必要があります。

保護者の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

<子育て支援策>

◆ 野田産米補助の補助率を100%にする

令和5年度10月より米の価格が更に上昇（1kg当たり税込み432円から495円）しておりますが、引き続き、野田産米購入にかかる費用の全額を補助していく。（継続して実施する方向で検討）

◆ 第3子以降の学校給食費無償化（千葉県が実施した場合に合わせて実施する方向で検討）

◆ 学校給食費改定額の半額を市が負担する

令和6年度の学校給食費（月額）を小学校4,650円（410円増）、中学校5,590円（500円増）と改定した場合には、令和6年度には、その価格改定分の半額（月額、小学校210円、中学校250円）を市が負担することで保護者負担の軽減を図る。

◆ 経済情勢が不安定で、物価高騰が収束する見通しがないため、令和6年度中に、国、県的情勢、物価高騰の状況などを踏まえ、学校給食費の在り方を検討させていただきたいと考えている。ただし、令和6年度中に、更なる物価高騰に食材料費が上昇した場合には、保護者負担を求めず、市が補助（公費負担）し、保護者負担の軽減を図る。

<生活困窮世帯への経済的支援>

◆ 就学援助の準要保護の範囲拡大による支援（継続して実施する方向で検討）

1 学校給食に提供している牛乳の価格（報告事項）

令和3年2月12日付けで文部科学省が発出した「学校給食実施基準の一部改正について」の通知において、「学校給食のない日はカルシウム不足が顕著であり、カルシウム摂取に効果的である牛乳等についての使用に配慮すること。なお、家庭の食事においてカルシウムの摂取が不足している地域にあつては、積極的に牛乳、調理用牛乳、乳製品、小魚等についての使用に配慮すること。」とあること、また、成長期の児童生徒にとって、不足しがちなカルシウムやタンパク質などの栄養素をバランスよく効率的に摂取するのに適している点を考慮し牛乳を提供しています。

牛乳の価格について、第2回学校給食運営委員会でご質問頂きましたので、資料に基づきお答えさせていただきます。

※ 集計表は、特定の時期のみを調査したものとなることから、今後も引き続き調査をしてまいります。

学校給食用の牛乳は、国が策定した「学校給食用牛乳供給対策要綱」及び「学校給食用牛乳供給対策要領」により、都道府県知事が指定した団体が供給価格及び供給事業者の決定を行うこととなっております。

野田市は、千葉県からの通知で「公益財団法人千葉県学校給食会」及び「雪印メグミルク株式会社野田工場」と学校給食で提供する牛乳を購入する契約を締結しておりますが、この購入価格は、千葉県内の自治体で同じ価格となっております。

また、千葉県においては、学校給食用牛乳の利用を支援する国の補助事業が該当するため、補助金適用された後の価格で市は契約をしております。

令和3年度、令和4年度は、価格上昇は1円未満でしたが、令和5年度には、5.8円上がっております。今後も、飼料価格の高騰等により価格が上昇する可能性があります。

表6 直近3年間の給食費に係る牛乳1本当たりの金額の推移 単位：円（税込）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助金適用前	50.42円	51.21円	56.58円
補助額	0.08円	0.07円	0.07円
契約額（税込）	53.93円	54.36円	61.03円
前年比	0.43円増	0.87円増	5.8円増

2 市内小中学校における牛乳の飲み残し調査結果（報告事項）

牛乳に代えて他の食品から同量の栄養素を毎日摂取しようとした場合、摂取量や価格面からも非常に困難と考え、これまで学校給食に牛乳を提供してきておりますが、第2回学校給食運営委員会において、委員の皆様からご提案頂いております牛乳の提供量、方法及び牛乳に変わるカルシウム等の摂取については、今年度から教育委員会と学校の栄養士で構成する栄養士部会で検討を開始しており、引き続き、児童生徒に喜ばれる、安心安全でおいしい学校給食の提供に努めていきます。

今年度、実施いたしました牛乳の飲み残し調査結果と、栄養士部会の取組は次のとおりです。

(1) 牛乳の飲み残し調査結果

現在、学校給食で提供する牛乳は、学校給食用の牛乳は国の省令により1本当たりの容量が原則200ml以上の国内産の牛乳と規定されており、農水省の学校給食用牛乳供給推進事業を活用し、一般価格より安価に学校給食会から購入しております。また、国の調査では、200mlが98.5%、250mlが0.53%、300mlが0.06%となっており、200ml以下で提供している自治体はありません。

野田市においても、現在、幼稚園から中学校まで、200mlで提供しておりますが、飲み残しが多く、提供量を減らすことも考えるため、令和5年6月19日から6月23日までの期間で、市内31校の飲み残し量を調査しました。

市では、この調査結果に基づき、次のとおり検討することとしております。

● 牛乳の提供量を検討する

引き続き、飲み残し量の調査を実施しながら、200ml以外のパックの提供、幼稚園、小学校、中学校で提供量を分ける、牛乳に代わる乳製品等の提供などを検討していきます。

※ 牛乳用調味料「ミルメーク」の提供については、「糖分が多すぎる」「一時的な対応にしかない」など、栄養士の意見が出ております。

● 牛乳の飲み残し量を減らす取組をする

牛乳の飲み残し量については、学校ごと、学年ごとにバラつきがあり、原因の一つとして、「飲み残し量が多い＝食育、声掛けの差」によるところもあると考えております。

市としては、出来る事から始めることを大事にし、まずは、声掛けと食育指導を実施に努めてまいります。

表7 牛乳残渣調査集計表

【単独調理校】(令和5年6月19日~23日)

単位: ml

学校名	区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援学級
東部小	調査期間合計残量(A)	1,800	0	1,360	1,200	740	1,100	120
	1日当たり残量(B):(A)/日数	360	0	272	240	148	220	24
	提供人数(人)(C)	16	20	22	19	24	41	7
	1日1人当たり残量(D):(B)/(C)	22.50	0.00	12.36	12.63	6.17	5.37	3.43
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	10.92	0.00	6.00	6.13	2.99	2.60	1.66
南部小	調査期間合計残量(A)	18,818	4,128	4,178	1,910	2,550	1,640	610
	1日当たり残量(B):(A)/日数	4,704.5	1,032	1,044.5	477.5	637.5	410	152.5
	提供人数(人)(C)	119	127	92	133	118	115	18
	1日1人当たり残量(D):(B)/(C)	39.53	8.13	11.35	3.59	5.40	3.57	8.47
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	19.19	3.94	5.51	1.74	2.62	1.73	4.11
北部小	調査期間合計残量(A)	5,200	4,300	1,600	8,000	3,900	1,000	
	1日当たり残量(B):(A)/日数	1,040	860	320	1,600	780.0	200	
	提供人数(人)(C)	31	39	43	65	62	63	
	1日1人当たり残量(D):(B)/(C)	33.55	22.05	7.44	24.62	12.58	3.17	
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	16.29	10.70	3.61	11.95	6.11	1.54	
福田一小	調査期間合計残量(A)	40	0	50	20	460	0	
	1日当たり残量(B):(A)/日数	8	0	10	4	115.0	0	
	提供人数(人)(C)	5	5	5	7	4	16	
	1日1人当たり残量(D):(B)/(C)	1.60	0.00	2.00	0.57	28.75	0.00	
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	0.78	0.00	0.97	0.28	13.96	0.00	
福田二小	調査期間合計残量(A)	100	1,400	0	0	0	0	0
	1日当たり残量(B):(A)/日数	20	280	0	0	0	0	0
	提供人数(人)(C)	5	16	9	9	2	11	8
	1日1人当たり残量(D):(B)/(C)	4.00	17.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	1.94	8.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
川間小	調査期間合計残量(A)	840	0	0	0	0	0	
	1日当たり残量(B):(A)/日数	210	0	0	0	0	0	
	提供人数(人)(C)	17	18	18	29	17	26	
	1日1人当たり残量(D):(B)/(C)	12.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
山崎小	調査期間合計残量(A)	3,500	2,800	2,100	1,700	0	0	900
	1日当たり残量(B):(A)/日数	700	560	420	425	0	0	180
	提供人数(人)(C)	48	67	68	71	55	50	17
	1日1人当たり残量(D):(B)/(C)	14.58	8.36	6.18	5.99	0.00	0.00	10.59
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	7.08	4.06	3.00	2.91	0.00	0.00	5.14

岩木小	調査期間合計残量(A)	7,000	5,200	8,500	3,300	2,000	6,500	0
	1日当たり残量(B) : (A)/日数	1,400	1,040	1,700	660	666.7	1,625	0
	提供人数(人)(C)	89	89	94	85	120	127	28
	1日1人当たり残量(D) : (B)/(C)	15.73	11.69	18.09	7.76	5.56	12.80	0.00
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	7.64	5.67	8.78	3.77	2.70	6.21	0.00
尾崎小	調査期間合計残量(A)	2,400	2,500	3,700	600	600	0	1,900
	1日当たり残量(B) : (A)/日数	480	500	740	120	150.0	0	380
	提供人数(人)(C)	40	38	34	53	44	44	20
	1日1人当たり残量(D) : (B)/(C)	12.00	13.16	21.76	2.26	3.41	0.00	19.00
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	5.83	6.39	10.57	1.10	1.65	0.00	9.22
七光台小	調査期間合計残量(A)	6,678	9,084	3,000	6,678	2,300	1,700	
	1日当たり残量(B) : (A)/日数	1,335	1,816.8	600	1,335.6	460	340	
	提供人数(人)(C)	36	26	44	41	44	54	
	1日1人当たり残量(D) : (B)/(C)	37.10	69.88	13.64	32.58	10.45	6.30	
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	18.01	33.92	6.62	15.81	5.08	3.06	
二ツ塚小	調査期間合計残量(A)	8,350	900	400	0	0	800	0
	1日当たり残量(B) : (A)/日数	1670	180	80	0	0.0	160	0
	提供人数(人)(C)	34	19	29	27	32	25	6
	1日1人当たり残量(D) : (B)/(C)	49.12	9.47	2.76	0.00	0.00	6.40	0.00
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	23.84	4.60	1.34	0.00	0.00	3.11	0.00
みずき小	調査期間合計残量(A)	14,000	3,900	19,000	2,000	1,800	1,700	
	1日当たり残量(B) : (A)/日数	2,800	780	3,800	400	360.0	340	
	提供人数(人)(C)	113	109	121	100	95	102	
	1日1人当たり残量(D) : (B)/(C)	24.78	7.16	31.40	4.00	3.79	3.33	
	牛乳1本当たりの残量割合(%):(D)/206ml	12.03	3.47	15.25	1.94	1.84	1.62	

表8 牛乳残渣調査集計表

【給食センター校（幼稚園は別表）】（令和5年6月19日～23日）単位：ml

学校名	区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援学級
中央小	調査期間合計残量(A)	24,678	23,126	16,324	12,030	4,824	23,828	412
	1日当たり残量(B)：(A)/日数	4,935.6	4,625.2	3,264.8	2,406	1,206	4,765.6	82.4
	提供人数(人)(C)	105	95	91	91	86	101	27
	1日1人当たり残量(D)：(B)/(C)	47.01	48.69	35.88	26.44	14.02	47.18	3.05
	牛乳1本当たりの残量割合(%)：(D)/206ml	22.82	23.63	17.42	12.83	6.81	22.90	1.48
宮崎小	調査期間合計残量(A)	4,500	13,442	8,212	7,324	9,178	12,378	1442
	1日当たり残量(B)：(A)/日数	900	2,688.4	1,642.4	1,464.8	3,059.3	2,475.6	288.4
	提供人数(人)(C)	62	62	69	68	79	84	15
	1日1人当たり残量(D)：(B)/(C)	14.52	43.36	23.80	21.54	38.73	29.47	19.23
	牛乳1本当たりの残量割合(%)：(D)/206ml	7.05	21.05	11.55	10.46	18.80	14.31	9.33
清水台小	調査期間合計残量(A)	20,826	17,114	20,786	12,412	7,200	6,700	824
	1日当たり残量(B)：(A)/日数	4,165.2	3,422.8	4,157.2	2,482.4	1,440.0	1,340	164.8
	提供人数(人)(C)	121	130	112	116	103	123	34
	1日1人当たり残量(D)：(B)/(C)	34.42	26.33	37.12	21.40	13.98	10.89	4.85
	牛乳1本当たりの残量割合(%)：(D)/206ml	16.71	12.78	18.02	10.39	6.79	5.29	2.35
柳沢小	調査期間合計残量(A)	15,500	9,000	12,000	3,300	4,000	4,500	
	1日当たり残量(B)：(A)/日数	3,100	1,800	2,400	660	800.0	900	
	提供人数(人)(C)	66	34	56	60	40	48	
	1日1人当たり残量(D)：(B)/(C)	46.97	52.94	42.86	11.00	20.00	18.75	
	牛乳1本当たりの残量割合(%)：(D)/206ml	22.80	25.70	20.80	5.34	9.71	9.10	
木間ヶ瀬小	調査期間合計残量(A)	2,800	1,700	900	1,500	1,300	400	800
	1日当たり残量(B)：(A)/日数	560	340	180	300	260	80	160
	提供人数(人)(C)	23	15	16	27	22	28	15
	1日1人当たり残量(D)：(B)/(C)	24.35	22.67	11.25	11.11	11.82	2.86	10.67
	牛乳1本当たりの残量割合(%)：(D)/206ml	11.82	11.00	5.46	5.39	5.74	1.39	5.18
二川小	調査期間合計残量(A)	7,000	4,900	3,200	6,500	3,200	2,000	100
	1日当たり残量(B)：(A)/日数	1,400	980	640	1,300	640	500	20
	提供人数(人)(C)	53	51	50	55	51	53	14
	1日1人当たり残量(D)：(B)/(C)	26.42	19.22	12.80	23.64	12.55	9.43	1.43
	牛乳1本当たりの残量割合(%)：(D)/206ml	12.82	9.33	6.21	11.47	6.09	4.58	0.69
関宿小	調査期間合計残量(A)	0	2,600	300	0	0	0	0
	1日当たり残量(B)：(A)/日数	0	520	60	0	0	0	0
	提供人数(人)(C)	8	12	16	16	15	16	14
	1日1人当たり残量(D)：(B)/(C)	0.00	43.33	3.75	0.00	0.00	0.00	0.00
	牛乳1本当たりの残量割合(%)：(D)/206ml	0.00	21.04	1.82	0.00	0.00	0.00	0.00

関 宿 中 央 小	調査期間合計残量(A)	11,700	8,100	2,000	700	100	100	0
	1日当たり残量(B) : (A)/日数	2,340	1,620	400	140	20	25	0
	提供人数(人)(C)	44	36	43	49	48	54	11
	1日1人当たり残量(D) : (B)/(C)	53.18	45.00	9.30	2.86	0.42	0.46	0.00
	牛乳1本当たりの残量割合(%) : (D)/206 ml	25.82	21.84	4.52	1.39	0.20	0.22	0.00

表9 牛乳残渣調査集計表

【給食センター校(公立幼稚園2園)】(令和5年6月19日~23日) 単位 : ml

幼稚園名	区分	年少	年中	年長
野 田	調査期間合計残量(A)	1,500	1,212	3,206
	1日当たり残量(B) : (A)/日数	300	242.4	641.2
	提供人数(人)(C)	21	19	30
	1日1人当たり残量(D) : (B)/(C)	14.29	12.76	21.37
	牛乳1本当たりの残量割合(%) : (D)/206 ml	6.93	6.19	10.38
関 宿 中 部	調査期間合計残量(A)		0	0
	1日当たり残量(B) : (A)/日数		0	0
	提供人数(人)(C)		8	10
	1日1人当たり残量(D) : (B)/(C)		0	0
	牛乳1本当たりの残量割合(%) : (D)/206 ml		0	0